

事業名

## 地域に根付く人づくり

目標

安全で安心して暮らせる 魅力ある 美しい 街づくり

## 1. 取組の視点

本地区は、奈良市西部地域の人口増加に伴い、その解消として開発され、学研奈良登美ヶ丘駅も完成し、隣接地での大型店舗の営業と共に各種商業施設が造られ、街としての形が出来つつありますが、開発は止まることなく、次々と新しい地区が出来てきています。新しい地区には自治会組織がないなど、地域コミュニティが確立されていません。

一方、近隣の公団団地や開発当初からの地域では少子高齢化が進んでいます。自治連合会も加盟が少なく校区全体を把握しきれていません。したがって、地域活動の基盤が脆弱で地域教育協議会の活動に大きな障壁となっています。このような環境の中で、学校と地域・家庭が協働しながら、学校が地域コミュニティの中心として、「安全で安心して暮らせる 魅力ある 美しい街づくり」を念頭に、各校園の環境整備等の取組みを支援すると共に地域防災について考え、サマーセミナーの実施や地域サークル（とみきた塾）の立ち上げ等に取り組み、地域及び学校の活性化を図りました。

## 2. 取組の概要

環境整備事業として各校園では、校内及び学校周辺の環境整備に取り組み、多くの保護者・地域ボランティアの参加を得て、垣根の剪定作業や草刈り・除草作業を行いました。作業で出た小枝等を本年度購入したウッド・チップperを利用して、腐葉土作りにも取り組みました。



また、花壇整備の一環としてひまわりの栽培や昨年度に引き続きゴーヤカーテンづくり等にも取組みました。



地域人材の発掘とおとなと子どものふれあいを考えたサマーセミナーを8月4日・5日開催しました。「市長と中学生が奈良の未来を語る」講座をはじめ「理科は面白いよ」「書で自由な表現」「弁護士はどのようなことをしているの」などの全16講座を開催し、校区の幼・小・中5校園を会場に2日間で延べ200名の参加がありました。



サマーセミナーで開催した「とった虫を宝物にしよう」や「ご一緒に なつかしい歌 夏の歌」、「理科は面白いよ」などの講座から年間を通じての活動にしたいといった申し出があり、新たに5つのサークルを結成し、既存の登美北農園クラブや草刈もうもうクラブなどと合わせて“とみきた塾”として秋から活動をスタートさせました。

校区の2小学校に国際交流の機会（登美ヶ丘小はルーマニアと東登美ヶ丘小はトレドと）をコーディネートしました。

## 3. 成果と課題

学校菜園の管理を地域の方々をお願いしたことで、多くの地域の方が学校を訪れ、生徒達の見守りや安全対策にも繋がりました。

収穫祭と環境整備、防災講習を結びつけ同じ日に実施しました。来年度は、これらをさらに連携させ、校区クリーン活動と夏の収穫祭、秋の収穫祭を防災炊き出し訓練として位置づけた防災訓練へと繋げていければと考えます。また、学校・園と地域の橋渡し役である、コーディネーターを中心に、地域人材発掘・ボランティアの登録を進めなければなりません。

事業名

## 自ら学ぶ力と表現力

目標

体験活動で体や心を通して学ばせ「伝え合う力」を育てる

### 1. 取組の視点

本校区は、高齢化が進む地区や新しく開発され町が出来つつある地区があり、それぞれが抱える生活の課題も多様で、学校と地域・家庭の接点がなかなか見いだせず、連携を基にした活動の在り方が大変難しいです。また、校区がいわゆる「ふるさと」として成熟していません。

このような課題を解決していく方途として、これまで実施を続けている事業については更に発展させ、体験的な活動を通して、自分自身や地域の課題について考え、自分の生き方や生活に直接かかわる学習を創造し、自分自身や自分の生き方や生活に直接かかわる課題に対して取り組み、それを地域にまで広げていきます。

### 2. 取組の概要

1年生では、地域発見の取組として世界遺産学習も兼ねた、奈良まち散策を実施しました。また、障害者理解学習では、盲目で車椅子生活をしながら、自らの世界観を人間味溢れる音楽で伝える山下さんの講演から、その心を感じ取ることができました。

2年生では、キャリア教育の一環として、45事業所で3日間の職場体験に取り組みました。

3年生では、性教育として奈良県助産師会の出前講座による学習をしました。

環境美化活動の一つとして、生徒会でボランテ



ィアを募り、花壇の整備と学校周辺の除草作業に取り組みました。また、文化祭は校区全戸

配布ビラで知らせ地域に開放し、校区住民との交流を図りました。

地域との連携強化及び、学校と地域の活性化を図る取組として、北中敷地内にある学校菜園を指導と管理を兼ね地域に委託し、育て収穫した野菜を使った、収穫祭を地域のボランティア・PTAの協力で、夏は除草作業と、秋は防災講習会と合わせて実施しました。夏・秋とも地域からは、20から30名のボランティア参加の協力があり、生徒・保護者を加えると250名を超える参加で、いろんな人たちとのコミュニケーションの輪が広がり、新しい触れ合いが誕生した。また、秋の収穫祭と共に12月には、地域防災を考える一つとして、防災アドバイザーの大和武士氏を招き「体で覚える防災技術」と題して“救助に役立つ簡易



担架とロープワーク”の講習会を実施しました。

### 3. 成果と課題

学校菜園の管理を地域の方々をお願いしたことで、多くの地域の方が学校を訪れ、生徒達の見守りや安全対策にも繋がりました。

収穫祭と環境整備、防災講習を結びつけ同じ日に実施しました。来年度は、これらをさらに連携させ、校区クリーン活動と夏の収穫祭、秋の収穫祭を防災炊き出し訓練として位置づけた防災訓練へと繋げていければと考えます。また、学校・園と地域の橋渡し役である、コーディネーターを中心に、地域人材発掘・ボランティアの登録を進めなければなりません。

事業名

## 「地域で育む心豊かな登美小っ子」

目 標

地域の方とのふれ合いをとおして、心豊かな登美小っ子を育てる。

### 1. 取組の視点

本年度は「地域で決める学校予算」を活用して、子どもたちの心を豊かに育てるために、地域の方々に、直接的に子どもたちにかかわっていただく取り組みを増やしました。

### 2. 取組の概要

#### ★ゲストティーチャーをお迎えして・・・

##### ○図工の授業

図工のゲストティーチャーをお招きしました。楽しく子どもたちと触れ合いながら、「切り絵」を教えていただきました。

##### ○生き物となかよし

1年生の生活科の教材として「生き物となかよし」をしました。ゲストティーチャーとして



地元の獣医師の先生をお招きしました。子どもたちは、専門家の先生と楽しくふれあいました。

##### ○図工クラブ

図工クラブ（紙工作）のゲストティーチャーとして、地域にお住いの先生をお招きしました。

##### ○総合学習

おはなしボランティア「月の光」代表の先生を読み聞かせのゲストティーチャーとして、お招きしました。一人芝居のような設定で約1時間半、6年生の児童に「いっぺんさん」を聞かせていただきました。子どもたちはたいへん感動したようで、涙ぐむ子もいました。お話が終わってからも、気さくに子どもたちに話をさせていただきました。貴重な時間を過ごしました。

##### ○奈良筆作り

奈良筆の伝統工芸師の先生をお招きし

ました。

##### ○平和学習

イラクなどの紛争地域で取材されているフリージャーナリストの先生を平和学習のゲストティーチャーとしてお招きしました。その後子どもたちは、自主的にイラクの子どもたちへ送るための募金活動を始めました。



#### ★学校支援ボランティアの活動

##### ○読み聞かせ（通年）

学校支援ボランティアの「おはなしの森」の方々に、定期的に読み聞かせを



していただいています。今年は、秋に「じゅげむ」の劇もしていただきました。

##### ○「みんなでゴーヤを植えよう」

ボランティアを募りゴーヤを育てました。節電の啓発にもなりました。できたゴーヤは、だれでも収穫できるようにしました。



### 3. 成果と課題

本年度はたくさんのゲストティーチャーをお招きすることができました。学校の教員だけでなく他の世界で活躍されている方と触れ合うことは、子どもたちにとって大きな財産になったのではないのでしょうか。

本年度はゲストティーチャーやボランティアの方々と触れ合う機会が多くなり、まさに「地域の方とのふれ合いをとおして心豊かな登美小っ子を育てる」という目標にせまれたと考えます。



事業名  
目標

## 瞳キラキラ 心わくわく 新しい出会い、発見をもとめて

- ・子どもたちが生き生きと活動できる空間の設営に取り組む。
- ・地域教育力を効果的に活用して、体験的学習や集団的活動を通して生きる力を培う。
- ・読書活動を通して心豊かな子どもを育てる。

### 1. 取組の視点

子どもたちが瞳を輝かせ、日々の学習で身につけてきた基礎的な知識や技能を活用し、心をわくわくさせながら主体的に学習や様々な活動に取り組む態度を養うためには、地域の人たちとの関わりを深めながら、新しい出会いと発見を求めて体験的な学習や体験的な活動の充実が必要であると考えました。

### 2. 取組の概要

生活科や総合的な学習の時間および児童活動等においてゲストティーチャーを招き、栽培活動や奉仕活動、教科を連携させた体験学習を通して働く喜びや奉仕の精神を学び、人との関わり、実践し自己を高める力を育てるための取り組みを行いました。

#### 【全校】

- ・昨年度設営した『ひがしとみフラワーガーデン』で栽培活動を行い命を育む体験と自ら美しい環境を作る体験を行いました。



- ・本年度は、創立 40 周年にあたりその事業の一環として運動会や校内音楽会において記念の取り組みを行いました。音楽会では、校歌を作曲していただいた藤原先生をお迎えし、全校で校歌を合唱しました。保護者や地域の方々からも大変多く高い評価をいただきました。



- ・読書活動の充実のために読書タイムを週 2 回に増やし読書への関心を高めました。また、お話の会の方をゲストティーチャーにお招きし本の読み聞かせを



していただきました。子どもたちは本の世界に引き込まれていきました。読書への関心をより高めていくことができました。

#### 【学年グループ】

- ・低学年は、「動物ふれあい体験」「虫博士に学ぼう」「おいもパーティー」「英語で遊ぼう」「昔遊びをしよう」と題し、地域の方々をゲストティーチャーに招いて学習したり、幼稚園と交流したり



楽しく活動を行いました。また、人形劇を通して表現活動の学びにも触れることができました。

- ・中学年は、社会科や総合的な学習の時間に「餅つき・かき餅作り・かき餅焼き」「外国語活動」等の体験的学習や体験的活動を行いました。
- ・高学年は、教科学習や



総合的な学習の時間において、被爆体験者をお迎えした「6年生平和学習」自らの体験からたくさんのメッセージをいただいた「5年生人権講演会」世界遺産学習の発展としてスペイントレド市との交流学习。また、日本の伝統的な茶道を通して礼儀作法を学ぶ「お茶会」を体験しました。

### 3. 成果と課題

今年度は、様々な活動の中で、地域の方々との連携を広げ・深めることができました。子どもたちは、新しい気づきや発見に目を輝かせ、学習を進めることができました。活動を通して思考力、判断力、表現力などを高めることができました。また、地域の方々やそれぞれの分野で活動されているゲストティーチャーの方々とのかかわりやふれあいを通して、意欲的・主体的に学びを深めるとともに、新たな自分との出会いをすることもできました。

事業名

**わくわく・ドキドキ・地域と歩む幼稚園**

目標

様々な感動体験をする中で豊かな心や意欲を育て、たくましく生きる幼児の育成  
自分たちの地域に親しみ、愛着をもつ幼児の育成

## 1、取組の視点

地域のゲストティチャーを迎え、様々な体験をすることで感動したり、葛藤したりしながら、自分から進んで取り組もうとする意欲を持ちます。

地域の小学校・中学校・高齢者施設と連携や交流することで自分たちの住んでいる地域に興味・関心を持ちます。

地域の幼稚園として、保護者や地域の方々の理解や協力を得て、地域に根差した幼稚園としての役割をすすめていきます。

## 2、取組の概要

地域のゲストティチャーを迎え、“書き方教室”を年5回実施しました。最初はなかなか集中して取り組むことができなかつたり、鉛筆の持ち方が難しかったりした子どもたちは回を重ねるごとに字に興味を持ち、落ち着いて少しずつがんばろうとする気持ちが育ちました。最終回には保護者の方に“書き方教室”を参観していただき、この事業を理解していただくことができました。また、お話の会では地域の方の協力で季節にあった手遊びや絵本の読み聞かせ、素話を聞かせていただきました。「このお話おもしろかった。」喜んで聞くことができたり、真剣に耳を傾け、自分たちでイメージを膨らます姿が見られ豊かな心情が育まれました。地域の高齢者施設との年3回の交流では核家族で過ごす子どもたちにとっては、高齢者の温かさに触れました。小学校との交流は子ども達にとって自分たちの学習する場としての意識をもつことができ中学生とのサッカー教室は、

心待ちにし、最後にするサッカーの試合は全力でぶつかっていく姿が見られました。親子お茶会は地域の講師先生が来てくださって、指導してくださいました。



音楽紙芝居では手作りの紙芝居を毎回楽しみにしています。今年度は親子音楽鑑賞会（マリンバ演奏）をし、親子で演奏を聴くことができました。次回もこのような演奏を身近で聞きたいという声も聞かれました。園庭の花壇や親子野菜栽培では自分たちで育てることによって食への興味・関心が高まりました。

## 3、成果と課題

地域の方々の教育力で、子どもたちは、やさしさや思いやりの心、頑張ろうとする気持ちが育まれ、豊かな感情が育まれました。



小・中・高等学校との連携を密にし、地域の子どもの育成に努めていきたいです。また親子栽培を保護者と一緒にすすめていきたいです。

事業名

**ふれあいいっぱい 楽しい幼稚園**

目標

**子育て支援の拠点としての幼稚園作りを目指す。**

## 1. 取組の視点

子育て支援の拠点としての幼稚園作りを目指し、地域に育つ子どもの育成をするため、保護者や地域の人々とのつながりを深め、いろいろな感動体験を重ねながら取り組みを進めてきました。

- ・地域の方々との交流
- ・ゲストティーチャーを招いた感動体験
- ・未就園児との触れ合い
- ・保護者保育参加
- ・小学校・中学校との連携

などを通して、意欲的に活動し、豊かな心とたくましい体を育むことに重点をおき実践してきました。

## 2. 取組の概要

## 【地域の方やゲストティーチャーとのかかわり】

○草刈モウモウ・クラブ・・・今年から事業活動



ボランティア「草刈モウモウ・クラブ」を作っていただき、園庭の草刈、垣根の剪定、枯れた松の木の伐採など環境整備のお手伝いをしていただきました。きれいになった園庭でのびのび運動会をすることができました。「きれいにしてくれてありがとう！」と、感謝の気持ちをそえて、手作りのお礼のプレゼントをしました。



「きれいにしてくれてありがとう！」と、感謝の気持ちをそえて、手作りのお礼のプレゼントをしました。

○お楽しみ会・・・地域の方にサンタクロースに



なっただき、子どもたちにプレゼントを渡していただきました。今年はサンタさんがピエロさんを連れてきて

くださり子ども達は大喜びでした。

○お話の会「モッチーズさん」・・・絵本、紙芝

居、素話などいろいろなお話をきかせてもらい、



目を輝かせて聞き入っていた子ども達でした。他にも英語で遊ぼうや不思議実験教室などゲストティーチャー

のおかげでいろいろな感動体験をすることができました。

【保護者保育参加】○親子お茶会・・・今年は親子



でお茶会を楽しみました。少し緊張しながらもおうちの人にお茶をたてたり、お菓子を

いただいたりと、親子で楽しく過ごせました。その他保育参加をしてもらう機会を多く取り入れたことで、園教育と幼児理解につながったと思います。

【小中学校との連携】○お芋パーティー（茶巾絞



り)・・・二年生にお芋パーティーに招待してもらい茶巾絞りをごちそうになったりゲーム遊びを楽しみました。

小中学校と年数回交流し楽しい経験をしています。

## 3. 成果と課題

子ども達は地域の方々をはじめとするさまざまな人と触れ合い、ともに感動体験を積み重ねることで、意欲につながり初めてのことにも積極的にかかわろうとする姿が見られるようになりました。また、友だちや未就園児への思いやりの気持ちや周りの人への感謝の気持ちが育ってきています。

今後も、子どもたちが心豊かにたくましく育つように、地域、家庭、幼稚園が連携して、子どもたちの生きる力につなげ、子育て支援の拠点となるよう内容の充実を図っていききたいと思います。